

園だより2月

令和7年1月31日
台東区立田原幼稚園
TEL3842-6477



「まかせて！」

副園長 松井 景子

暦の上ではもう「立春」です。子供たちが植えた水仙やチューリップの芽が顔を出し始めました。就学・進級を楽しみにパワー、エネルギーを蓄えて芽吹き始める、それは、まるで田原幼稚園の子供たちのようです。そんな芽吹く子供たちの姿の一部をお伝えします。

「できるよ！」…3歳児うめ組

片付けの時間に、私が落ちていた素材を拾い「これはどこにしまうのだっけ」と聞くと、「あー任せて」「先生手伝わなくていいよ」「もう、できちゃったよ」と、さっと動くうめ組さんに成長を感じました。担任も「あれー先生が見ない間に、もうきれいになっちゃった」と驚きます。様々なことに自信をもち行動する姿は「もうすぐ、もも組」のお兄さんお姉さんです。

「誕生会やりたい！」・・・4歳児もも組

先日の1月の誕生会で今まで以上にもも組の視線が注がれたのは、ばら組の「司会」でした。担任が今のばら組と一緒にできる誕生会はあと3回ということをお話しました。寂しいけれど、来年度は自分たちがあの司会をやることに期待をもって臨んだもも組です。会終了後すぐに「こうやってお辞儀をしていたね」「園長先生のお話です。園長先生お願いします！」と真似をしていました。まるで、「任せて！」と書いてあるような頼もしい背中でした。

「こういうのはどう？」…5歳児ばら組

昨年度のばら組さんの作った遊園地『ばらやしき』をよく覚えており、花やしき遠足に行く前から乗り物を作って遊んでいました。自分たちも遊園地を作りたいという熱い思いをもって遠足に行き、遠足後には、グループごとに「この乗り物のどこが楽しかったのか」を伝え合いました。そして、その動きを再現するには、どんな用具がよいか、どんな方法がよいか、たくさん試行錯誤しました。教師間でも子供のイメージを大切にしながらいろいろ試し、「この素材の方が安全か」「このやり方の方が丈夫かも」などと、子供たちと一緒に探究しました。

また、遠足では5枚綴りのチケットでしたが、今度オープンする『ばらやしき』ではどうするかの話になりました。

「うめ組はなくすかもしれないからフリーパスがいいんじゃないの？」

「花やしきの人みたいにチケットをちぎりたい。」

「でも乗り物は3つしかないから、3枚？」「3枚しかないのか。」

「怖いと思った乗り物は乗らないで、違うのをもう1回乗っていいチケットにする？」

「チケットなくなったら、チケット売り場に行って買えるようにすればいいよね。」

担任「誰がチケットを売るの？」

「僕たち乗り物やって忙しいから。先生何もやってないでしょ、やって！」

担任「えっ?!」(笑)

まさに会議でした。最終的にチケット売り場はなしになりましたが、チケットについてだけでもこんなに考えが出て、しかも自分の思いを押し通そうとするのではなく、自分の考えを伝えて提案し、自分とは違う考えを受けて更にまた考えていました。話し合っているばら組の姿に成長とともに驚きさえ感じました。

令和6年度の教育活動も残り30日余りとなりました。現在、今年度の反省・評価を行い、令和7年度の計画を練っているところです。今年度は地域の皆様にも評価にご協力いただきました。貴重なご意見ありがとうございました。田原幼稚園の子供たちを支えてくださる皆様のお力添えをいただきながら、子供たちの豊かな体験、学びある教育活動を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。